

学校だより



令和4年10月1日
 尼崎市立園田小学校
 校長 永所 孝章

ともに学ぶ — 「青春って、すごく密なんです」 —

HPへ ⇒



「青春って、すごく密」なので、でもそういうことは全部『だめだ、だめだ』と言われて、活動していても、どこかでストップがかかって、どこかでいつも止まってしまうような苦しい中で、でも本当に諦めないでやってくれた。」

「僕らが過ごした高校生活を100とすると、今の高校生は30もないと思う。それでも、不満を言うのではなく投げやりにもなっていない。これからは、学生生活を少しでも『濃密』にしてあげたい。」
 (一部抜粋)

これは、今夏の全国高校野球で優勝を果たした仙台育英高校の須江監督が、インタビューの中で語っていた言葉です。このインタビューを聞いた時、全国の小中高大のすべての児童・生徒・学生に向けられたものだと感じました。今年度の子どもたちの団体演技についても同様で、全力で一心に取り組む姿に感動しました。

1年生 「Let's go!! 小さなポケモンマスター」 ～ キラキラリストバンド ～

小学校初めての団体演技。太陽の光が手首につけたリストバンドに当たりきれいに輝いていました。テンポの良い曲に合わせて笑顔いっぱいジャンプする姿がとても素敵でした。人差し指を立てる決めポーズ、真剣な目と相まってかっこよかったです。

2年生 「回して踊って! フラフープ輪—ルド!」 ～ フラフープ ～

2年生がこんなに上手にフラフープを操っているのに驚きました。フープをひとりで回したり、縄跳びしたり。グループでフープを重ねたり、形を作ったり。学年のみなが力を合わせ、フラフープが弾んでいました。まさに輪—ルドでした。

3年生 「三響三華」 ～ バンダナ ～

オープニングのゆっくりとした動きはEXILEを彷彿させるキレのある、しなやかなダンスでした。バンダナを腰から手に持ち替え、回転させると赤と青と黄と緑の色がきれいに重なり、学年全体が一つに感じられ、とてもかっこよかったです。

4年生 「114人のサバイバー」 ～ 如意棒 ～

放送の「ぜってえ、見てくれよな」から、『カメハメハー—』がドラゴンボールの悟空を感じさせる決めポーズでかっこよかったです。また、棒を回転させたりペアでクロスさせたりと上手に操っていました。4年生のパワーを感じました。

5年生 「ダイナミック SONODA Grade 5」 ～ 太鼓 (エイサー) ～

「イーヤーサーサー」の大きな掛け声が、沖縄にいるような気持ちにさせてくれました。バチを見る目と太鼓の音が一つになって会場に響き渡り、頭に巻いたサージが一層子どもたちを凛々しくしていました。太鼓が空を舞うダイナミックな演技でした。

6年生 「風頼威憧 -PRIDE-」 ～ 長半纏 (ソーラン節) ～

長半纏を払って着た時、「おー」という下級生の声が聴こえてきました。それだけで最高学年の気迫を感じることができました。その【静】の姿からヒップホップ調のテン

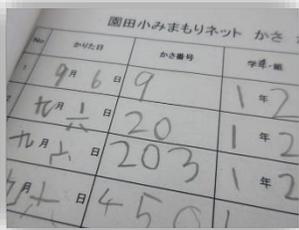
がある曲の融合がとてまかつこよかったです。『プライドは高く、腰は低く』を体現できた素晴らしい演技でした。最後の集団での動き、キレのある動きに合わせた「ハッ、ハッ、ハッ」には圧倒されました。終始、圧巻の演技でした。さすがは園田の最高学年！

本校の子どもたちも、教育活動の様々な場面で制限がある中、日々一生懸命に取り組んでいます。今回の体育大会もこれまでの頑張りが表れた演技でした。また、児童鑑賞日は交流学年のペアと座り、一緒に鑑賞しました。お互いの演技が終わり戻ってくると「かつこよかったよ。」「すごかったよ。」という声が聞こえてきました。声をかけてもらった方は、少し恥ずかしそうでしたが誇らしげでした。

保護者の皆様には、子どもたちの力いっぱい演技を見ていただけて嬉しく思います。子どもたちが精いっぱい取り組むことができているのは、子どもたちが弱音を吐いた時でも、ご家庭で子どもたちに励ましの声を掛け、また背中を押してくれているからだと思っております。この後も感染状況がどうなるかわかりません。それでもできる可能性を探りながら、少しでも『濃密に』教育活動に取り組んでいきたいと考えています。今後も何卒ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

校内で見つけた素敵な学び

学びのシーン① — 漢数字 —



9月6日の下校時間帯に1年生の児童3人が職員室に傘を借りにきました。この傘は、「見守りネット」のみなさんのご好意でいくつか置かれているものです。傘を借りる時は、貸出ファイルに月日・傘番号・名前を書かないといけません。私は書いている様子を観ていました。すると月日を漢数字で書いていることに驚き、思わず「すごいね、漢数字つかってる。」と言いました。その言葉に対して1年の児童は「今日習ってん。」とこたえました。私は「習ったことをすぐに生活の場で使えるってほんとにすばらしい。」と言いました。学んだことが生活の場で活かせるステキな1年生で、たいへん嬉しく思いました。

学びのシーン② — お月様 —

9月16日の登校時、北門で子どもたちを迎えていました。たくさんの低学年の児童が西側の空を見て登校してきます。その中の児童が「校長先生、お月様！」と言いました。そこで私は「このお月様の形はこの後どうなるのかな？」と返しました。ほとんどの児童は「満月！」とこたえました。しかし高学年のある児童が「先生、この前中秋の名月だったからこの後どんどん小さくなっていく」と言いました。確かにちょうど7日前満月でした。科学的な素晴らしい考え方・見方だなとこの発言に感心しました。



つながる6年と中学校 — 連体の陸上練習 —



10月12日に市内の小学6年生(代表)が集まり陸上競技【400mリレー・40mハードル走・走り幅跳び・ボール投げ】がベイコム陸上競技場で行われます。そこで、その日に向けての練習に園田中学校陸上部の3年生が教えに来てくれています。県レベルの走りを披露してくれたり、アドバイスをしてくれたりと子どもたちにとってはたいへん勉強になります。隣にお手本となる先輩がいるのでたくさん学び、次は自分たちが下級生のお手本となれるように頑張っしてほしいです。12日当日の頑張りを期待しています。



ぶらっと そのだ ① 校区の歴史探訪

今年度創立150周年を迎えた本校。その歴史と伝統は今の時代にも受け継がれています。また、この地域には多くの歴史的遺跡や出来事の言い伝えが残されています。そんな地域の歴史を今月号から6回シリーズで掲載します。ご興味のある方は、ぜひ現地へ足を運んで歴史を感じていただけたらと思います。

歴史探訪のナビゲーターは、本校読書力向上で子どもたちの教育に携わっていただいている高須賀先生です。地域の歴史に精通しておられ、図書室には高須賀先生の手作り紙芝居「三平伝説」をはじめ多くの作品が掲示されています。本校にお越しの際はぜひ図書室にもお立ち寄りください。

第1回目のお話は、本校の西側の道路『有馬道』についてです。



高須賀先生

豊臣秀吉が通った園田小学校正門前通学路 『有馬道』 高須賀幸郎

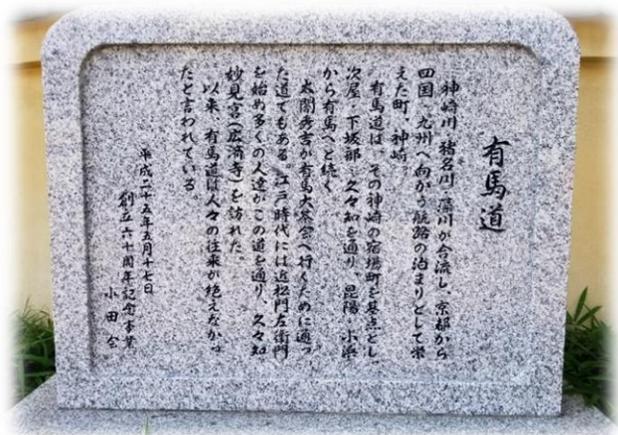
ありま山 猪名の笹原 風吹けば いでそよ人を 忘れやはする

紫式部の娘 大弐三位（だいにのさんみ）の歌である。古く万葉集に、また、日本書紀にも日本最古の温泉として有馬が登場する。この温泉をこよなく愛したのが太閤秀吉であった。生涯9度湯治に訪れており、天正13年（1585年）9月には北政所（ねね）、石田三成、大谷吉継たちを引き連れ、天正18年（1590年）10月には千利休 他 重臣たちを従えて有馬大茶会（ありまだいさのえ）を開いている。近松公園の石碑にも記されているが、有馬道は、当時栄えていた宿場町 神埼を基点とし、藻川沿いに猪名寺・伊丹に至る本道と、次屋・下坂部・久々知・上坂部・塚口を通して昆陽に至り宝塚市内で本道と合流する間道の2コースが利用されていた。いずれにしても、歴史上有名な人たちが学校の前を通り過ぎていたことにロマンを感じる。



有馬温泉にある

秀吉とねねの銅像



近松公園にある石碑



高須賀先生作成の園田の史跡マップ →

図書室に掲示しています。

地域の力 — 学校開放 川端委員長と消防団のみなさま —



9月18日(日)の午前中、学校開放の川端委員長をはじめ、消防団・PTAのみなさんで体育大会に向けて、運動場の凸凹を均してくれました。鉄棒の近くなど運動場のまわりにたまっていた土砂を運動場の真ん中にもっていき、最後には軽トラックできれいにしてくれました。おかげ様で、子どもたちは気持ちよく演技ができました。いつも本当にありがとうございます。



10月の行事予定

日	曜	行 事 予 定			
4	火	通常授業 (弁当いります)	18	火	1年視力検査
5	水	1年虫取り	19	水	就学時検診 (全校児童 13:05 下校)
7	金	2年遠足、6年視力検査	21	金	5年自然体験学習
11	月	朝会、すぎのご視力検査			1年保護者給食試食会
12	水	6年連合体育大会、5年視力検査	24	月	音楽会準備6年
13	木	4年視力検査	25	火	音読朝会、6年連合体育大会予備日
14	金	全校児童5校時後下校	26	水	短縮時間割
		3年視力検査	28	金	3年環境体験学習
17	月	2年遠足予備日			4・5・6年情報モラル教室
		2年視力検査、6年車いすバスケ			

※毎週月曜日は定時退勤日となっています。ご理解ご協力をお願い致します。

【 祝 創立150周年 】

150周年体育大会の参加賞として「ものさし」を、150周年の記念品として「したじき」をPTAさんより頂いています。クリアファイルは写真屋さんからのプレゼントでもらいました。ご活用ください。



2005年に発行された絵本、デビット・マッキー (イギリス) 作『せかいでいちばんつよい国』の紹介です。大きな国の大統領が「われわれが世界中を征服すれば、みんなが われわれと同じように幸せに暮らせるのだ」と信じて、武力でほとんどの国を征服しました。一つだけ残った小さな国は兵隊も武器も持たず、大きな国の兵隊たちをお客さんとして歓迎しました。戦争に明け暮れた兵士たちは、小さな国の歌や料理を教えてもらったり、一緒に楽しく遊んだりして幸せな時を過ごしました。大統領は相変わらず「世界を救う正義の味方！大きな国はつよい国！」と兵隊たちを行進させ帰って行きました。ある晩、彼の息子が「お父さん、眠れないから歌をうたって」とせがむと、大統領は眼をつぶり心に浮かぶ歌を次々にうたってやりました。それは すべて あの小さな国の歌でした。 読書力向上担当 高須賀 幸郎